

漁況予報 いわし

第 1 2 1 号

2004年 1～2 月漁期
(2004年1月9 日発行)

＝ 概 況 ＝

【まいわし】

主要定置網における11月のマイワシ総漁獲量は2トンで、前年同期と同じ値でした。各定置網とも中羽マイワシ(2002年級群)主体に散発的な漁模様に終始し、漁獲量は伸びませんでした。12月に入るとさらに来遊量は減少し、総漁獲量は僅か150kg程度に留まりました。

中型まき網による漁獲は、11、12月を通してありませんでした。

2003年のマイワシ漁況は、太平洋系群の資源量が非常に少ないこともあり、前年に続き大変厳しいものとなりました。主要定置網では110トン程度しかなく(過去5年平均の13%)、前年と同レベルの漁獲水準でした。まき網による漁獲は、小型まき網で45トン程度ありましたが、中型まき網ではとうとう0トンで終漁となりました。

したがって、県全体でみても、前年の200トンを超えて下回る漁獲量で終漁となりました。

【かたくちいわし】

主要定置網における11月のカタクチイワシ総水揚げ量は、4.5トンで昨年同期(1トン)並みとなりました。10月中旬から来遊し始めたジゴ(春生まれの0歳魚)は11月を経て12月中旬まで来遊組成の主体でありましたが、来遊量自体はさほど多くありませんでした。ところが、19日前後に東京湾～相模湾に小型成魚の来遊があり、各定置網で1～3トン/統のややまとまった入網がありました。

佐島地区のまき網も、19日前後を中心に餌イワシとして漁獲しました。

2003年のカタクチイワシ漁況は、高水準を反映して前年に引き続き好漁となりました。主要定置網では3,200トン程度の水揚げがありました。これは前年の2倍弱、過去5年平均の3倍にあたります。

【しらす】

相模湾のしらす漁は、11月に入り平塚を中心とした奥部では150～500kg/統/日の漁獲水準が中旬まで継続しました。東部では、佐島～秋谷周辺で中旬にかけて同100kg前後の漁獲水準が続きましたが、その他の地区では目立った漁はありませんでした。12月に入ると、奥部では中旬にかけて同100kg前後、下旬は少ないながらも毎日50kg程度の漁が続きましたが、東部では多くても同10kgまで漁獲水準が低下し、出漁を見合わせる船もありました。

2003年のしらす漁は、春漁が他海域では前年を大きく上回る漁模様の中、黒潮系水の流入が弱かったこともあり、相模湾では予想した程漁獲量は伸びませんでした。7～10月の夏漁は、各月とも不漁だった前年を上回る漁獲量でした。結局、年間総漁獲量は標本船3統のデータによれば、65トン(3統合計値)で不漁の前年(60トン)は辛うじて超えましたが、低水準で終漁しました。

＝ 予 報 ＝

まいわし

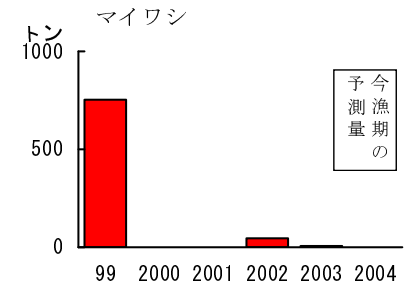
今漁期は、中羽イワシ(2002年級群)が漁獲の主体となり、これに1歳魚が混じるでしょう。

定置網主体に散発的に入網するものと思われます

今漁期の漁獲量は、約15トンと予測されます。

* 縦軸：主要定置網+まき網

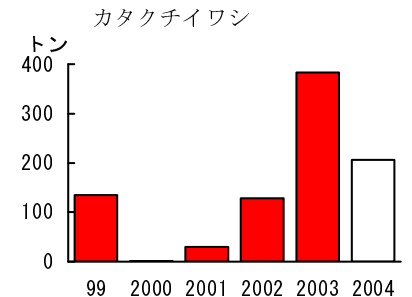
過去5年の1・2月漁期の漁獲量
と今漁期の予測量



かたくちいわし

今漁期は、小型成魚及び大型成魚が漁獲の主体となります。

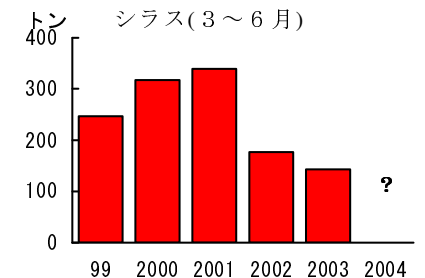
今漁期の漁獲量は、約205トンと予測されます。



しらす

神奈川県の上りしらす漁業は、1月1日から3月10日まで禁漁です。当所では、解禁後の漁況予測のため、しらす船曳網漁業連絡協議会の協力により、禁漁期間中に漁期前調査を実施します。今回は、長井地区と平塚地区のしらす漁業許可船を使用させて頂くことになりました。ありがとうございます。

次号で経過報告をします。



本年もよろしくお願ひします！

